



公益社団法人
滋賀県理学療法士会

ニュース

No. 222(2023-2)

<http://www.shiga-pt.or.jp>

2023.2.1

発行者: (公社) 滋賀県理学療法士会 平岩康之
〒520-3201
滋賀県湖南市下田 909-9

編集者: 小倉 正和 (公立甲賀病院)
大谷 明日輝 (公立甲賀病院)

印刷所: (有) 東呉竹堂 (ひがし印刷)

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願
い申し上げます。

毎年、書いておりますが、まだ今年もコロナ禍が続いております。
世間では、行動制限は緩和され、経済活動も活発になってきておりま
す。しかしながら我々医療介護業界はまだまだ油断できない状況が続
いています。Covid-19 による重症者こそ少ないですが、スタッフの
陽性者や濃厚接触者は後を絶ちません。多くの施設で、スタッフの出
勤停止などによるスタッフ不足には悩まされているのではないかとお
察しします。そのような中で、本会の事業にご尽力いただいているこ
とは、誠に頭が下がる思いでございます。本会の運営は、一部の事務
局作業を除いて、ほぼボランティアで運営されております。これまで
は皆様の善意や熱意でなんとか続けられてきた、そのように思います。
また、本会会員を雇用していただいている施設のご理解、ご協力には
大変感謝しております。この場をお借りしてお礼申し上げます。

次年度は第63回近畿理学療法学会を本会が担当で行うこと
になりました。近畿理学療法学会は近畿2府4県の理学療法士会が
持ち回りで担当しております。今回、私は大会長を拝命いたしました。学会テーマは、大変悩みましたが「人
口減少時代の理学療法 私たちに何ができるか 何をすべきか ～理学療法のポテンシャル～」といた
しました。今まさに人口減少時代に日本は突入しています。私は高度成長時代に幼少期を過ごしましたが、
私が通っていた小学校は8クラス、中学校が14クラスもあり活気にあふれていました。今はめっきり子
供の数は少なくなり、数クラスとなったと聞いています。このままいくと日本はどうなるんだろう、そ
んな不安を感じさせる時代になってきました。しかしながら、人口減少のネガティブな側面だけを見ず、
成熟の時代として、できる限りポジティブにとらえて、そこで理学療法士が求められているもの、でき
ることなど、これからの理学療法を考えていける場としたいと考えています。普段、学術活動をされて
いる方もされてない方も、急性期も、生活期も、分野に関わらず多くの理学療法士が興味をもって参加
できる、そういう学会にしたいと思います。また、一般の方には公開講座を企画しております。現在、
準備委員を立ち上げ、鋭意準備に励んでおります。積極的な演題登録、ご参加をお願い申し上げます。
皆様にとって、この一年が実りあるものなることをご祈念申し上げます。



公益社団法人
滋賀県理学療法士会

会長 平岩 康之

第63回近畿理学療法学会 2024/2/4 大津市民会館、琵琶湖ホテル (予定)

県民参画事業 2022 活動報告

2022年12月18日(日)にイオンモール草津にて、県民参画事業 2022 を開催させていただきました。「滋賀県民の健康」をメインテーマに、『健康しがマルシェ～知ってみよう、変えてみよう自分のからだ～』を開催しました。実施主体は、滋賀県立リハビリテーションセンター、(公社) 滋賀県理学療法士会、(一社) 滋賀県作業療法士会、滋賀県言語聴覚士会です。

多職種からブース出展や MLGs 体操を実施し、約 150 名の滋賀県民の方達に参加して頂けました。今後もこのような機会は大切だと思いました。

公益社団法人 滋賀県理学療法士会 公益事業部
甲賀市水口医療介護センター 岸本 美地彦



2023年度 滋賀県理学療法士会活動助成事業のお知らせ

応募要領：

協会指定研究として「県民の健康増進に関わる研究」1編、助成事業要綱の内容に関わる研究1編を募集します。

助成事業要綱（滋賀県理学療法士会ホームページよりダウンロード可能）の内容を確認の上、研究活動助成申請書を作成し提出してください。

研究はどの課題を選択したのかを記載し、①研究の目的、②方法、③予想される結果、および④仮説とそれに対する考察等を1000字程度にまとめ所定の用紙に記入して提出してください（原稿には①～④とわかりやすく見出しをつけること）。

また、研究発表までのおおまかな研究計画予定（タイムスケジュール）および研究に必要な経費（基本的に8万円まで）の概算を所定の用紙（様式1～4：滋賀県理学療法士会ホームページよりダウンロード可能）に記入して下記送付先へメールまたは郵送で提出してください。

応募締め切り：2023年4月30日

審査：

- 1) 2023年5月
- 2) 基礎・臨床及びその他の分野の研究を各数編選出し、1編につき基本的に8万円以内の助成を行う。
- 3) 審査結果は本人宛に通知すると共に士会ニュースにて発表する。

研究助成該当者の責務：

選出された研究該当者は、2024年滋賀県理学療法士学術集会にて、その成果を発表する。また、滋賀県理学療法士会学術誌「湖都」に掲載する論文を2024年10月までに教育部に提出する。それまでに教育部の許可なく他誌への投稿はしないこととする。

送付先：

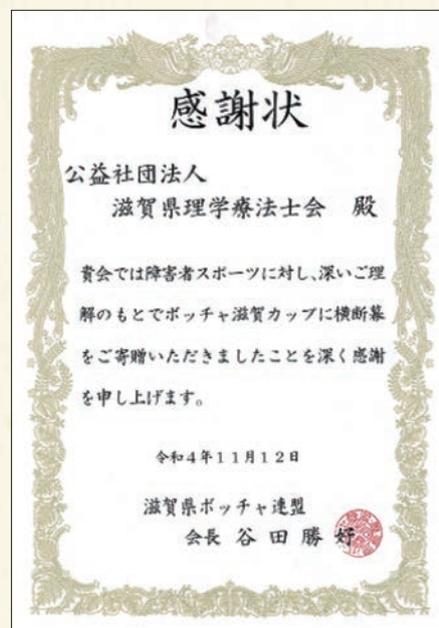
大津赤十字病院 リハビリテーション科 中川 竜徳
〒520-0046 大津市長等1丁目3-15
TEL：077-522-4131 mail：ptkyouikubu@yahoo.co.jp

ボッチャ滋賀カップ 2022 (滋賀県ボッチャ連盟主催) 協賛事業報告

公益社団法人 滋賀県理学療法士会

2022年11月12日(土)、第1回BOCCIA SHIGA CUP(滋賀県ボッチャ連盟主催)が、障がいのあるなしに関わらず参加できるインクルーシブの大会として、滋賀県障害者福祉センターにて開催されました。重度障がい者も楽しめるボッチャ競技の普及に協力するため、当士会の公益事業として、大会横断幕を寄贈させていただきましたが、開会式で感謝状を拝受いたしました。

日本ボッチャ協会のA級審判を招いて開催された大会は、障がいの重たい方、車いす利用の方、聴覚障がい者、年齢も小学生から高齢者まで様々な方々が混成チームを作り、滋賀県内各地から8チームが参加されました。びわこリハビリテーション専門職大学理学療法学科の学生さんも、大会運営にボランティアとしてご協力されていました。今後も、ボッチャ競技が広く県内に広がるよう当士会は応援してまいります。



障がい者スポーツ支援部だより

★全国障害者スポーツ大会に参加してきました★

滋賀県立総合病院 高田 沙織



2022年10月29日～31日に開催された第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」の陸上競技に選手サポートとして参加しました。

全国障害者スポーツ大会の陸上競技は身体障害のある選手と知的障害がある選手が出場できる競技です。一般的なトラック種目や幅跳び・砲丸投げなどのフィールド種目に加え、車いすで障害物をよけながらタイムを競うスラロームや150gの豆が詰まった袋を投げ飛距離を競うビーンバック投げなど障害者スポーツ大会特有の種目も実施されます。

競技以外にも、聴覚障害のトラック競技では光でスタートがわかるスターティングブロックが採用されていたり、視覚障害の走り幅跳びでは介助者の声や手拍子で踏切板まで誘導していたりと、競技結果以外にも随所に見どころを感じる競技です。身体障害は切断や片麻痺、神経障害のほかに聴覚障害、視覚障害、内部障害などがあり、その中でも障害の区分によってクラス分けがされています。またおおよそ同じ障害が同レースで競えるようにプログラムが組まれています。

今回滋賀県からは身体障害4名、知的障害6名の計10名の選手が出場しました。成績は金メダル11個、銀メダル5個、銅メダル2個で、全員がメダルを獲得しました。そのほかにも自己新記録や大会記録もあり、コロナ禍となってから初めての試合でしたが滋賀チームとして一致団結して挑めたのではないかと思います。

今回は理学療法士の業務とは少し離れてコーチングスタッフとしての参加でした。競技中のサポートはもちろんですが、それ以外にもウォーミングアップ場所の確認や時間管理、選手招集への付き添いなど一日中動き回っていました。特に私が大変だと感じたのは、普段あまり一緒に練習していなかった知的障害選手へのアドバイスや声掛けの仕方です。細かいニュアンスが伝わりにくかったり、逆に選手の考えていることをくみ取ってあげられなかったりなど、移動も含め6日間一緒に過ごしたからこそ気づき学ぶことができた部分だと思います。またトレーナーとして金沢整形外科クリニックの野村氏に帯同していただき、コンディショニングの面でも勉強させていただくことができました。

2025年には滋賀県で「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ」が開催されます。滋賀県選手団としても今年度の倍以上の人数の選手を派遣する予定をされています。選手の活躍を支えるためには様々な分野のたくさんのサポートスタッフが必要です。障スポはもともと障がい者の社会参加を目的にはじまりました。理学療法士としてのスキルや競技性の高さはおいといて、まずは一緒にスポーツを楽しむ姿勢が必要だと私は考えています。もし障害者スポーツに興味をお持ちの方がおられましたら、迷わず一歩踏み出していただければと思います。



第11回 写真コンテスト投票結果

厚生部にて企画致しました第11回写真コンテスト（作品テーマ：“自由テーマ”）には、合計22作品のご応募がありました。ご応募いただいた会員の皆様、ありがとうございました。

今回の写真コンテストもWEB投票で会員の皆さんに選んでいただきました。結果は以下の通りです。

グランプリ



「ファーストシューズ - 歩くことが好きになった君へ -」

滋賀医科大学医学部附属病院 久郷 真人 さん

準グランプリ



「春光」

水谷整形外科医院 山口 晃司 さん

厚生部特別賞



「能登の夕凧」

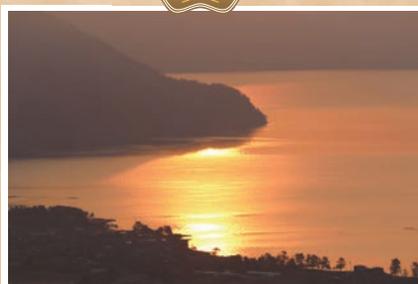
生田病院 田中 翔平 さん

優秀作品



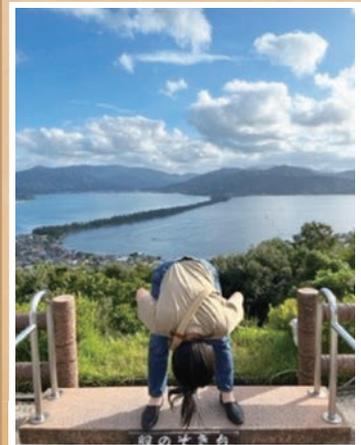
「夜梅花」

びわこリハビリテーション専門職大学
宇於崎 孝 さん



「高島の朝」

デイセンター音羽のさと 関野 美幸 さん



「覗いたった！」

豊郷病院 吉田 環 さん

「静かなひと時」
近江温泉病院
中川 めぐみ さん



「夏休み」

滋賀医科大学医学部附属病院
飛田 良 さん

滋賀県理学療法士会 厚生部



並河 孝

本の名前：『その「もの忘れ」はスマホ認知症だった』

著者：奥村 歩（おくむらメモリークリニック院長）

価格：880円（税別）

出版社：青春出版社

表紙に10万人の脳を診断した脳神経外科医が教える本と紹介されている。いつの間にか生活必需品となったスマホを絶えずいじっていて、過剰な情報をインプットして脳過労を起こしている人が40-50歳代に多いと警告を鳴らしている。情報ばかり入れて、人間にとって一番大切な前頭葉の考える機能が衰えて錆びついてしまう。一日に100名以上診察されて、特にここ5年に物忘れ外来受診者は若年化してきているようです。働き盛りの人は認知症じゃなくてももの忘れ症状を訴えられる。大事な会議を忘れてたり、重要なデータを保存したがパスワードが思い出せない・・・。

認知症というより脳の処理能力が落ちた『脳過労』のようである。この状態が長く続くと記憶力・思考力・判断力・集中力等、脳の働きが低下してしまう。このような人に共通するのがスマホやパソコンに頼りすぎていて、脳機能が低下する『スマホ認知症』と命名している。情報のインプットが多すぎて、いざ使う時に情報が出てこない、できない状況となっている。

そのため考えるという機能が錆びついていく。情報のメタボ・情報生活習慣病と述べている。インとアウトのバランスが取れていない状況である。その対策として、まずスマホで疲れた脳をしっかりと休むことが必要と警告している。脳科学的見地から“デフォルトモード”（ぼんやりと自分を振り返る）時間を一日5分持つ。脳を鍛えるのではなく、脳に疲れをためない。体を動かす等のアウトプットを増やして脳機能のバランスをとる。スマホ・パソコン漬けを止めて、自分で考えることを増やし、前頭前野を活性化することが大切と述べている。理学療法士としては是非ご一読して頂きたい本であると思います。



健康フェアを開催しました

2022年11月19日に滋賀県理学療法士会の公益事業として地域高齢者を対象とした健康フェアを開催しました。当日は28名の高齢者に参加して頂き筋力や柔軟性、バランス、歩行速度等の体力測定、血圧や骨密度、体組成計による筋肉量等の健康チェック、運動指導、健康相談等を実施しました。終了後のアンケートにおいても内容に満足して頂けた方が多く、開催した喜びを感じるところです。参加して頂いた高齢者は介護保険サービス等を利用されていない元気な方が多く、体力測定や健康チェックでご自身の身体状態を知る良い機会となったようです。また運動指導等においてホームエクササイズを学んだり、初めて触れる運動マシーン等で運動の大切さを感じたりしておられました。今回の取り組みにより運動がより身近なものとなり要介護とならない予防の取り組みが大切であることも感じて頂けたようです。初めての試みであり試行錯誤の実施ではありましたが、今回得た経験を基に今後も定期的な開催ができるよう努め、地域貢献の役割を担っていきたいと思われました。

最後になりましたが、滋賀県理学療法士会の助成や長浜赤十字病院からのご支援により計測機器等を使用することができ充実した内容の開催が行えたことに感謝いたします。ありがとうございました。



介護老人保健施設
長浜メディケアセンター
西堀 悦子



事務局便り

情報の更新をお願いします！

異動や退職等で住居を異動されたにも関わらずマイページの変更を行っていない方がおられます。郵送物が届かない等のトラブルがございます為、**職場・住居を異動されました場合は必ずマイページの更新をお願い致します。**

情報の更新で不明な点がある場合は**日本理学療法士協会**へ問い合わせをお願い致します。

士会からの郵送物の配送先について

士会からの郵送物は経費節減のため原則として勤務先へ郵送しております。会員の皆様には不便をお掛け致しますが、ご理解とご協力をお願い致します。

今後、郵送物は極力減らし、メール配信等電子媒体を主体にしていく方向へ検討しております。

変更されていない方がおられます！！

outlook.jp、hotmail、ezweb で管理者ネットワークに登録されている方へ

管理者ネットワークに outlook.jp、hotmail、ezweb のメールアドレスで登録されている方は、お手数ですがメール変更の連絡をお願い致します。何らかの理由で、事務局からメールが届かない状態です。お手数をおかけしますが、所属、氏名、上記以外のメールアドレスを事務局まで送信をお願いいたします。特に、メールが一度も届いていない方、直ちにお知らせください！

メールアドレス変更の連絡先 事務局メールアドレス：[jimukyoku\(a\)shiga-pt.or.jp](mailto:jimukyoku(a)shiga-pt.or.jp)

滋賀県理学療法士会問い合わせ先一覧

(a)は@に置き換えてください

事務局 公文書発行

[jimukyoku\(a\)shiga-pt.or.jp](mailto:jimukyoku(a)shiga-pt.or.jp) 担当：佐々木 TEL/FAX: 0749-46-0001

※お問い合わせ等は、できる限りメールをお願いいたします。

入会、異動、休会

異動届は協会ホームページ（マイページ）上から行うことになっています。

<http://www.japanpt.or.jp/>

財務関係

[kaikei\(a\)shiga-pt.or.jp](mailto:kaikei(a)shiga-pt.or.jp) 担当：滋賀医大 平岩 川波 TEL/FAX 077-548-2670

発送物関係 総務部

reha(a)otsu.jrc.or.jp 担当：大津赤十字病院 リハビリテーション科 奥田

折込発送物等あれば、25日までにお申し出ください。折込発送は基本偶数月のみ発送します。
折り込み発送物の発送先の発送範囲についてもお知らせください（会員のみ、関連団体込など）。
各部の事業の配布物に関しても発送に関しては総務部にご相談ください。

ホームページ原稿受付

jimukyoku(a)shiga-pt.or.jp 担当：佐々木

ホームページ <http://www.shiga-pt.or.jp>

士会ニュース原稿受付 広報部 shigaptnews(a)yahoo.co.jp 担当：公立甲賀病院 山添

介護報酬部 ptkaigohokennbu(a)yahoo.co.jp 担当：ナースステーションあうんケア栗東 片岡

診療報酬部 shigaptnews(a)yahoo.co.jp 担当：公立甲賀病院 山添

※お問い合わせ等の際には、メールの件名に「診療報酬部への問い合わせ」と明記してください。

生涯学習関係 生涯学習管理部

h-kawasaki(a)pt-si.aino.ac.jp 担当：びわこリハビリテーション専門職大学 川崎

TEL 0749-46-2311

厚生事業関係 厚生部 ptshiga_kouseibu(a)yahoo.co.jp 担当：東近江市蒲生医療センター 奥田

公益事業部 shigapt_k_mk2016(a)yahoo.co.jp 担当：甲賀市水口医療介護センター 岸本

障がい者スポーツ支援部 ptshiga.parasports(a)gmail.com 担当：医療法人かさはら医院 石井

編集後記

2023年が始まり、未だCOVID-19に振り回されながら新しい生活様式にもなじみつつあり、インターネットをうまく活用して仕事に取り組むことを目標に今年頑張っていきたいと思えます。本年も宜しくお願い致します。

リハメ PT・OT・STのための
総合オンラインセミナー

リハノメとは

「リハノメ」はPT・OT・STのための、
どこでも学べるオンラインセミナーサービスです。
臨床に悩むPT・OT・STのために、
各分野の専門家が臨床経験や研究成果に
基づいた知識・技術をお届けいたします。

どこでも
学べる

日本最大の
講師数

オフライン
再生対応

31
配信スケジュール
随時公開

定額見放題

POINT 5

1ヶ月見放題プラン

通常料金 3,080円が初回限定で...

980円

(税込)

お申込は
こちら



豪華講師陣が
続々登壇!



理学療法士 / 国際医療福祉大学大学院
医療福祉学研究所 福祉支援工学分野 教授
石井 慎一郎 先生

理学療法士 / さとう整形外科
赤羽根 良和 先生

法人様向けプランも
ご用意しております

株式会社 **gene**
ジーン

✉ seminar@gene-llc.jp
Tel.052-325-6611

リハノメ 検索

ケアスタッフ、看護師向け
オンラインセミナー

ケアラル
ナースタディ

リハノメ
HPは
こちら



〒461-0004 愛知県名古屋市東区葵1丁目 26-12 IKKO 新栄ビル6階

揺るがない医療人へ



びわこリハビリテーション 専門職大学



〒527-0145 滋賀県東近江市北坂町967 TEL:0749-46-2311

<本学HP>